

皆野・長瀬ロータリークラブ

週報

◇例会日 第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30
◇例会場 長瀬レクリエーションホテル 養浩亭
◇事務所 〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬1446 養浩亭内
Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp



イマジン
ロータリー

IMAGINE ROTARY

第1607回例会 令和5年1月26日(木)

【会長の時間】

畝 徳治

夜間例会の時には、趣味に関するの能楽とか謡曲に絡んでお話をさせて頂いております。今回は世阿弥の言葉で「稽古は強かれ、情識はなかれ」という言葉がありますが、これに絡んでお話をさせて頂きます。この情識は常ではなく、情です。いろんな解釈がありますが、その辺に絡んで安田さんの本から紹介させて頂きます。



その前に私としても稽古という言葉に関して経験があるので、その話をさせて頂きます。私は現在、謡の愛好会に参加し入会2年目から事務局を担当しています。初めの頃、稽古日程を白板に書き出す時、「稽古日」と書かず「練習日」と書いたことがありました。その時、当時の会長から「畝さん。練習でなく稽古と書きなさい」と言われてしまいました。その時は、同じことではないのかな程度に思っていました。安田さんの本に次のような記載を見つけ改めて納得しました。

日本の古典芸能では、「練習」ではなく、「稽古」という言葉を使います。「稽」とはもともと「深く頭を下げる」とか「真剣に考える」とかいう意味であり、「古」は「固」、すなわち歴史の波に洗われて、それでもまだここに存在しているものをいいます。能でいえば、幾度もの初心の波を通り抜けて、いまここに存在している観阿弥・世阿弥以来の謡や型です。

その「古(固)」は、師匠の身体を通して眼前に現れています。そのような「古(固)」に対して、深く頭を下げ、そしてそれを自分の身体でも実現できるように研究・努力をする、それが「稽古」です。だから稽古はどれほど強く行っても、強すぎるということはない。

しかし、注意すべきは情識です。しかも、この「情識」の意味はさまざま、ある人は争う心といい、ある人は慢心といいます。あるいは迷いの心という人もいますし、頑固さという人もいます。それらをすべてひっくるめて「情識」といってもいいでしょう。

稽古とは本来、おのれを無にして「固」(長く続ける芯のようなもの)を求めることですが、しかし稽古を積み積むほど、自分の芸が上がれば上がるほど、慢心も出てくるし、他人と争う心も出てくる。頑固にもなるでしょう。それ

らをなくす努力をすることも稽古なのです。

古典芸能を学ぶことは、現代の芸能を学ぶことを少し超えたものを学べる気がします。

【親睦挨拶】

謡曲 熊野

地 歌「そも此の歌とまをすは。そも此の歌と申すは。在原の業平の。其の身は朝に暇無きを。長岡に住み給ふ老母の詠める歌なり。さてこそ業平も。さらぬ別のなくもがな。千代もと祈る子のためと詠みしことこそ、哀れなれ・詠みしことこそあはれなれ

シ テ「今はかやうに候へば。御暇を賜はり。東に下り候ふべし

ワキ詞「老母の所労はさる事なれどもさりながら。此の春ばかりの花見の侶。いかで見すて給ふべき

シ テ「御言葉を返せば畏れども。花は春あらば今に限るべからず。これは徒なる玉の緒の。永き別となりやせん。たゞ御暇を賜はり候へ

ワキ詞「いやいやさやうに心弱き。身に任せて叶ふまじ。いかにも心を慰めの。花見のくるま同車にて。俱に心を慰まんと

地 歌「牛飼くるま寄せよとて。牛飼車寄せよとて。これも思の家の内。はや御出と勧むれど。心は先に行きかぬる。足弱車の力なき花見なりけり

【幹事報告】

山田 利明

1. 地区事務所より
 - ①職業奉仕月間リソースの案内
 - ②ロータリー財団海外派遣賞が癖募集ポスター
 - ③米山記念記念奨学生修了式及び歓送会の案内
 - ④おもてなし遍路ウォークの案内
 - ⑤ウクライナ復興支援金振込口座の案内
 - ⑥2023-24年度地区テーマ
 - ⑦2023-24年度役員委嘱について
2. 米山記念奨学会よりハイライトよねやま



出席率 100%

今年の抱負（目標など）



萩原 繁会員

目標とする事を漢字一文字で表して「飛」にしよう。12月になって「飛」という漢字として良かったなと思えるような年になればいいなど。



高田 富康会員

新たな飲み屋を200ヶ所以上見つけて行きたい。



宮前 英雄会員

循環型社会を目指す会社にする事を目標とする。



山田 利明会員

仕事のやり方の転換期にあるので、乗り遅れずに業績を伸ばす。



高田会員奥様

妙子さん

健康のために休肝日を設けたい。



畝 徳治会員

孫は遠くにいても、出来るだけ行事に参加したい。



畝会員奥様

恵美子さん
孫の世話をし、母の介護を1日でも長く続けたい。



新井 康夫会員

今年目標を漢字二字で表すと「感謝」です。神社の事をする時にもやらされていると考えると自分からやっていると思うと、感謝の気持ちを持ちます。もう一つは、感じるのは「謙虚」さです。人間、謙虚さを持っていないとダメだなと感じています。



宮前会員奥様

伸子さん

今年も皆さんと仲良く過ごしていきたい。

